『西洋の書物工房』　読書会　第18回

2016.05.26

朗読箇所：　第五章　モロッコ革をもとめて

5. フレンチ・モロッコ

・ルネサンス期の本の変化

* 本文の印字、字体、判型、本文素材、製本・装丁の変化⇒人文主義的装丁

- 本の内容の変化に呼応

・ジャン・グロリエ（Jean Grolier, 1479‐1565）

* フランスの愛書家
* ミラノ公国の宮廷財務官，フランス政府財務官 (1534) などを歴任
* グロリエ様式

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

❖参考文献

・気谷誠著『西洋挿絵見聞録 : 製本・挿絵・蔵書票』アーツアンドクラフツ, 2009

・マーティン・ライアンズ著 ; 三芳康義訳『本の歴史文化図鑑 : ビジュアル版 :

5000年の書物の力』柊風舎, 2012

・ジュゼップ・カンブラス著 ; 市川恵里訳『西洋製本図鑑』雄松堂出版, 2008

❖参考にしたサイト

・“早稲田大学図書館に見る西洋の歴史的装丁--西洋の製本装丁略史--”. 早稲田大学図書館.

<http://www.wul.waseda.ac.jp/TENJI/souteiw/sot02.html>. （参照 2016-05-24).

・“ルネサンス期の製本について”. Les fragments de M

<http://www.frgm-reliure.jp/miracle_world_9/#.V0Z24G9f3cs>（参照 2016-05-25).

・“ルリユール小史”. Les fragments de M

<http://www.frgm-reliure.jp/reliure/reli_cu-hist/>（参照 2016-05-25).

担当（山上朋宏）